## 【授業科目】特別研究Ⅰ（母子支援看護学：小児）　Master's Thesis Ⅰ

| 担　当　教　員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィスアワー |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 別所 史子、増田 由美、杉崎 一美 | １年次<br>後　期 | 選　択 | ２ | ６０ | 演　習 | 巻末<br>掲載 |

| | |
|---|---|
| 授業概要<br>（内容と進め方）<br>及び<br>課題に対する<br>ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法 | 小児看護学領域における課題を取り上げ、関連文献を収集し批判的に検討を加える。<br>文献のクリティークを通して自分の焦点としていく研究課題を明確にして、さらに文献の批判的検討を深める学習を行う。研究テーマに関する社会的動向についても、十分に理解を要するため文献以外の資料を用いてディスカッションを重ねる。研究者として倫理的な配慮ができるよう研究倫理について修得する。<br>研究計画書について企画する。<br><br>課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出された研究計画書はコメントをつけて返却する。また、演習中にも随時、コメントする。 |
| 授業の<br>位置づけ | 本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。 |
| 到達目標<br>（履修者が到達すべき目標） | １．文献検索･文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。<br>２．探求したい研究課題に関して、研究デザインを明確化できる。<br>３．研究課題を解明するため適切な研究方法を選択し、倫理的配慮を含めた研究計画書を企画できる。 |
| 時間外学習に<br>必要な<br>内容・時間 | 研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む（5～8 時間）。<br>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。 |
| 授業計画 | 第 1～10 回　それぞれの学生が関心をもっている領域の文献の批判的検討<br><br>第 11～15 回　研究課題の検討<br>探究したい問いや現象が研究課題となりうるのかの検討<br><br>第 16～25 回　研究方法の検討<br>１）探究したい研究デザインについての検討<br>２）探究したい現象についてのデータ収集方法の検討<br>３）探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討<br>４）探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討<br>（質問項目作成、インタビューガイド作成など）<br><br>第 26～30 回　研究計画書の企画 |
| | 全て<br>別所<br>増田<br>杉崎 |
| 評価方法<br>評価基準 | 演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。 |
| 教科書 | なし |
| 参考書等 | 配付資料<br>参考文献についてはその都度提示する。 |